

# 伊勢・三河湾貧酸素情報 (H27-7号)

平成27年7月24日

愛知県水産試験場 漁場環境研究部

平成27年7月22、23日に伊勢湾、三河湾において貧酸素水塊の調査を実施しましたが、その結果は下記のとおりです。

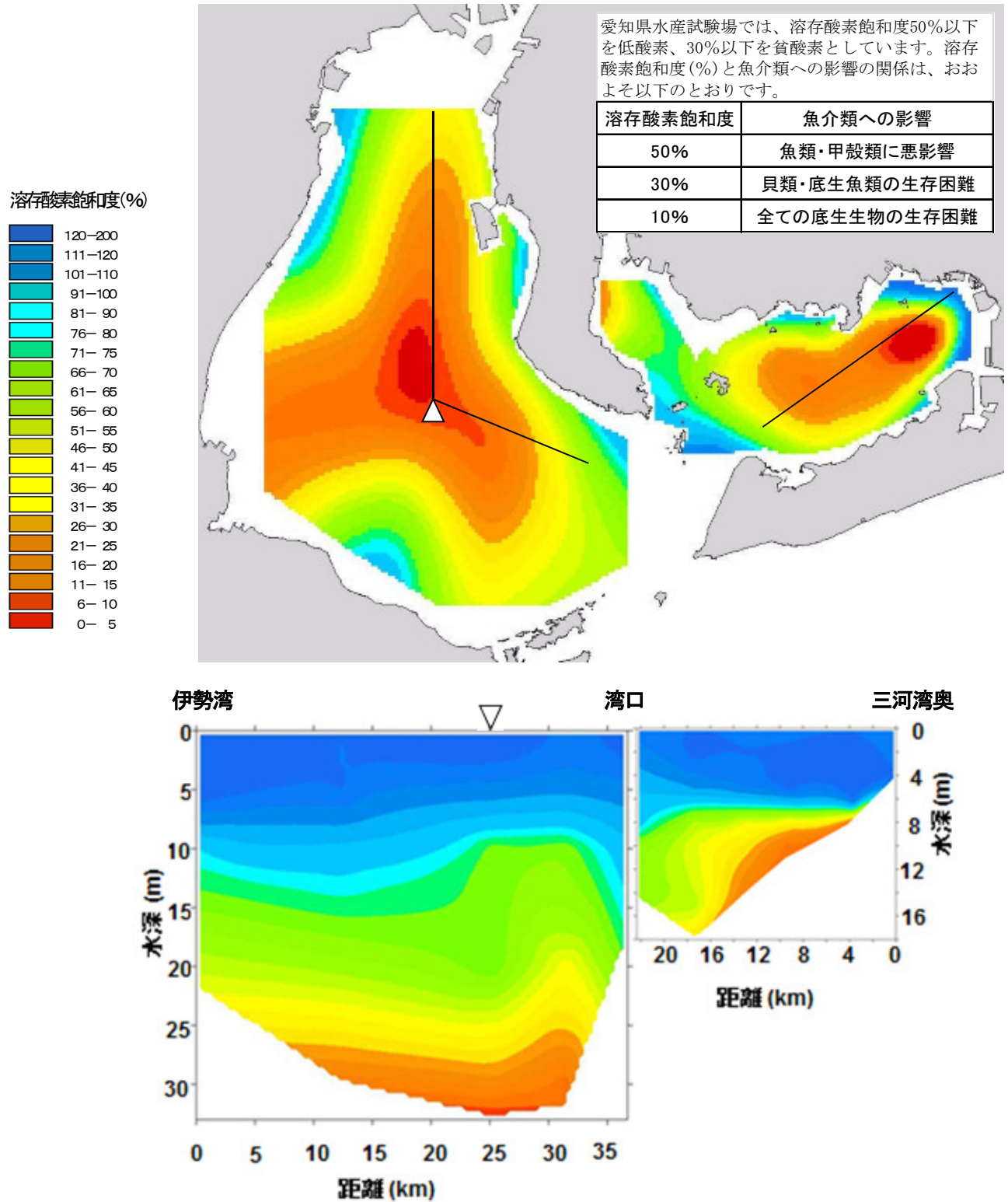


図1 伊勢湾 (7月22日) 三河湾 (7月23日) 底層の溶存酸素飽和度の分布 (上図) 及び上図直線部分の鉛直分布 (下図) (愛知県「へいわ」、三重県「あさま」調査)

### 伊勢湾

7月22日の調査結果を図1に示しました。前回調査(7月7日)と同様に湾中央部を中心に貧酸素水塊が確認されました。表層では降雨の影響により塩分が低下しており、表底層の塩分較差が大きくなっています。今後は、表層の水温上昇と低塩分化によりさらに成層化が進み、貧酸素化が進行すると思われます。

	水温(°C)		塩分	
表層	22.3	~ 26.8	13.0	~ 29.8
底層	17.4	~ 24.9	26.1	~ 33.2

### 三河湾

7月23日の調査結果を図1に示しました。前回調査(7月13日)では湾奥部を中心に貧酸素水塊がみられましたが、今回の調査では渥美湾の広い範囲と知多湾の一部の海域で貧酸素水塊が確認されました。渥美湾奥部の岸寄りでは植物プランクトンが多く、底層でも溶存酸素飽和度が高くなっています。

自動観測ブイ1号(蒲郡沖)のデータをみると、貧酸素水塊は台風の影響により18日に一旦解消しましたが、その後、再度、貧酸素化が進行している様子が観測されています(図2)。

今後は、表層の水温上昇と低塩分化によりさらに成層化が進み、貧酸素化が進行すると思われます。

	水温(°C)		塩分	
表層	25.1	~ 27.6	12.6	~ 28.8
底層	21.6	~ 26.8	27.5	~ 32.1

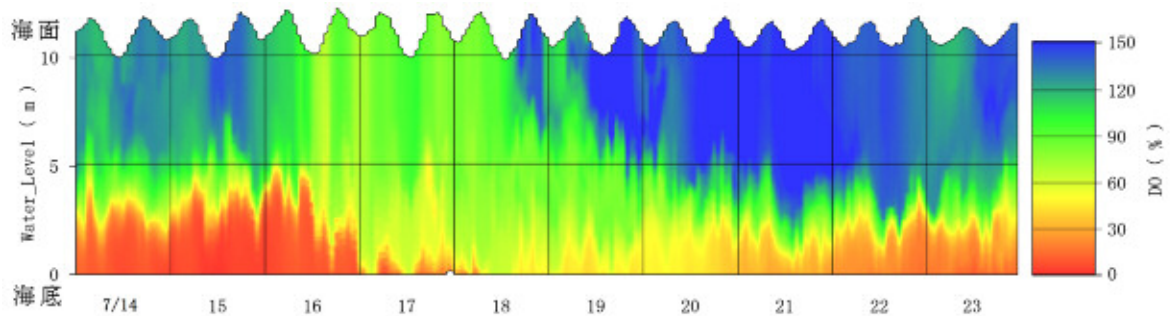


図2 溶存酸素飽和度の経時変化(自動観測ブイ1号)

### 参 考

前回調査時の底層の溶存酸素状況

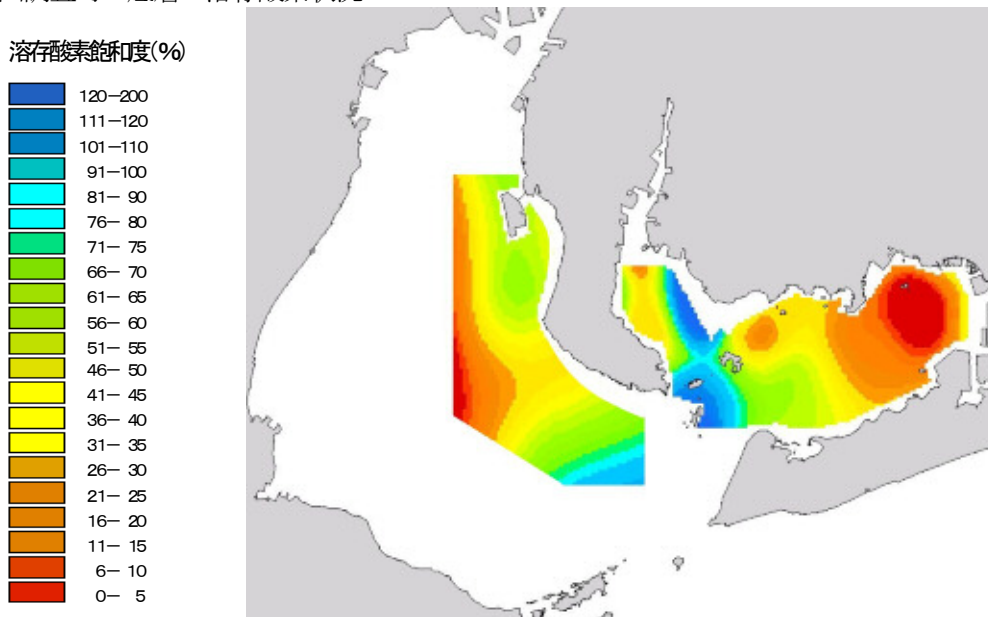


図3 平成27年7月7日(伊勢湾)、13日(三河湾)